

2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年11月15日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
 コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 柴田 史郎 (TEL) 0467-61-3399
 四半期報告書提出予定日 2021年11月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け、証券アナリスト・機関投資家向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	8,968	43.9	855	69.2	912	77.9	602	36.5
2020年12月期第3四半期	6,232	37.4	505	—	512	—	441	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 701百万円(440.9%) 2020年12月期第3四半期 129百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	39.59	39.21
2020年12月期第3四半期	29.06	28.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	7,281	3,380	41.4
2020年12月期	7,024	2,629	34.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 3,013百万円 2020年12月期 2,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	3.90	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	37.2	1,000	34.3	1,100	48.6	700	38.6	46.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	15,211,400株	2020年12月期	15,201,800株
2021年12月期3Q	164株	2020年12月期	164株
2021年12月期3Q	15,207,435株	2020年12月期3Q	15,179,167株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、個人消費や雇用情勢に弱さがみられます。内閣府は2021年9月の月例経済報告において、景気の先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要があると指摘しております。

当社グループを取り巻く事業環境としまして、2019年のスマートフォン保有率が前年比4.2%ポイント上昇の83.4%となり、モバイルでのインターネット環境は引き続き発展を続けております(出所：総務省「令和2年版情報通信白書」)。当社が注力するインターネット広告市場についても、2020年の市場規模は前年比5.9%増の2兆2,290億円となり、総広告費が前年比11.2%減となる中でも、成長を続けております(出所：電通「2020 日本の広告費」)。また、ゲーム総合情報メディア「ファミ通」によれば、国内eスポーツ市場規模は2020年に前年比9.2%増の66.8億円となり、2021年は同29.9%増の86.7億円へ拡大する見込みです。当社グループを取り巻く事業環境としまして、2019年のスマートフォン保有率が前年比4.2%ポイント上昇の83.4%となり、モバイルでのインターネット環境は引き続き発展を続けております(出所：総務省「令和2年版情報通信白書」)。当社が注力するインターネット広告市場についても、2020年の市場規模は前年比5.9%増の2兆2,290億円となり、総広告費が前年比11.2%減となる中でも、成長を続けております(出所：電通「2020 日本の広告費」)。また、ゲーム総合情報メディア「ファミ通」によれば、国内eスポーツ市場規模は2020年に前年比9.2%増の66.8億円となり、2021年は同29.9%増の86.7億円へ拡大する見込みです。

このような事業環境の中で、当社グループはより多くのユーザーに楽しんでいただけるよう良質なデジタルコンテンツを提供し続けております。その中でも、クライアントワーク、ゲーム、ゲームコミュニティ、ちいき資本主義の4つを主要サービスと位置づけ、相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。また、その他サービスとして、SNSブライダルプラットフォームなどの新規サービスの開発及び投資を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,968,678千円(前年同期比43.9%増)、営業利益は855,348千円(前年同期比69.2%増)、経常利益は912,489千円(前年同期比77.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は602,053千円(前年同期比36.5%増)となりました。当社グループの事業セグメントは単一セグメントでありませんが、サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

① クライアントワーク

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件が増加傾向にあります。また、当社の企画力、技術力をもとにクライアントの新製品開発を支援する領域にも進出しております。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、2,054,122千円(前年同期比41.1%増)となりました。

② ゲーム

「ぼくらの甲子園! ポケット」、「キン肉マン マッスルショット」、ハイパーカジュアルゲーム、(株)カヤックアキバスタジオでの受託ゲーム開発が売上高の大部分を占めています。ハイパーカジュアルゲームにつきましては、2021年第3四半期に新作タイトル「Gun Sprint」および「Balloon Crusher」を正式にリリースし、既存タイトルの一部にピークアウトの傾向が出てきたものの、ダウンロード数は直前四半期比31.2%増の6,090万件となりました。なお、2021年上期の世界のアプリダウンロード数ランキングは日本企業で1位となっております。また、(株)カヤックアキバスタジオでの受託事業は拡大基調にあります。この結果、ゲーム関連の売上高は4,340,644千円(前年同期比44.2%増)となりました。

③ ゲームコミュニティ

ゲームファンに向けた一連のコミュニティサービスを展開しています。ウェルブレイド・ライゼスト(株)のeスポーツ事業、スマートフォンゲームに特化したコミュニティの「Lobi」、トーナメントプラットフォームの「Toname1」が売上高の大部分を占めております。ウェルブレイド・ライゼスト(株)では大型のeスポーツ大会の運営の受託案件が当第3四半期連結累計期間の増収に寄与しました。また、対戦形式の拡充等が追い風となり、2021年第3四半期におけるToname1の大会開催数は直前四半期比19.1%増の2,759件となりました。この結果、ゲームコミュニティ関連の売上高は、1,675,588千円(前年同期比61.0%増)となりました。

④ ちいき資本主義

地方公共団体や地域企業に対して、まちづくりに関するコンテンツの開発とサービスの提供を行っております。移住プラットフォームサービスの「SMOUT」、コミュニティ通貨サービスの「まちのコイン」、地域プロモーションの受託、鎌倉市内で展開するまちづくり事業などのサービスが売上高の大部分を占めております。2021年9月末時点で、SMOUTの累計登録ユーザー数は直前四半期末比12.4%増の3.14万人となり、順調に拡大しております。この結果、ちいき資本主義関連の売上高は、264,812千円（前年同期比24.8%増）となりました。

⑤ その他サービス

ブライダルプラットフォーム「プラコレWedding」は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年上半期に業績が悪化した後、緩やかな回復基調にあります。また、湘南地域への移住ニーズが追い風となり、子会社で展開する不動産仲介業が堅調に推移しております。この結果、その他サービス関連の売上高は、633,510千円（前年同期比23.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ256,605千円増加し、7,281,079千円となりました。主な要因は、売上高の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加508,692千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ493,859千円減少し、3,900,752千円となりました。主な要因は、長期借入金および1年内返済予定の長期借入金の減少516,785千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ750,465千円増加し、3,380,327千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加542,755千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2021年2月15日公表の「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2021年11月15日)公表いたしました「2021年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,513,250	2,317,835
受取手形及び売掛金	1,517,539	2,026,231
仕掛品	163,347	192,374
その他	234,919	199,639
貸倒引当金	△43,912	△45,810
流動資産合計	4,385,143	4,690,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	856,589	822,904
土地	609,928	609,928
その他(純額)	59,701	94,050
有形固定資産合計	1,526,218	1,526,883
無形固定資産		
のれん	389,771	418,815
その他	207,085	198,353
無形固定資産合計	596,857	617,168
投資その他の資産		
投資有価証券	147,096	221,536
繰延税金資産	229,611	122,875
その他	193,217	156,015
貸倒引当金	△53,671	△53,671
投資その他の資産合計	516,253	446,756
固定資産合計	2,639,330	2,590,808
資産合計	7,024,473	7,281,079
負債の部		
流動負債		
買掛金	388,978	439,223
短期借入金	103,000	300,208
1年内返済予定の長期借入金	963,644	641,631
未払金	448,525	348,463
未払費用	230,383	235,748
未払法人税等	172,852	183,403
その他	354,305	219,793
流動負債合計	2,661,689	2,368,472
固定負債		
長期借入金	1,704,857	1,510,084
その他	28,064	22,195
固定負債合計	1,732,922	1,532,279
負債合計	4,394,611	3,900,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,967	525,623
資本剰余金	470,308	471,964
利益剰余金	1,446,505	1,989,260
自己株式	△208	△208
株主資本合計	2,440,572	2,986,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,607	26,861
その他の包括利益累計額合計	△11,607	26,861
新株予約権	50,035	55,986
非支配株主持分	150,861	310,840
純資産合計	2,629,862	3,380,327
負債純資産合計	7,024,473	7,281,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	6,232,804	8,968,678
売上原価	3,481,814	4,779,701
売上総利益	2,750,989	4,188,976
販売費及び一般管理費	2,245,582	3,333,628
営業利益	505,406	855,348
営業外収益		
受取利息	527	1,070
受取配当金	204	300
助成金収入	25,387	15,810
投資有価証券売却益	2,100	—
保険解約返戻金	—	29,591
為替差益	—	11,816
その他	9,482	9,116
営業外収益合計	37,701	67,704
営業外費用		
支払利息	4,908	6,151
為替差損	19,641	—
持分法による投資損失	5,326	—
支払保証料	—	2,692
その他	403	1,718
営業外費用合計	30,280	10,562
経常利益	512,828	912,489
特別利益		
投資有価証券売却益	—	92,696
固定資産売却益	60,857	—
特別利益合計	60,857	92,696
税金等調整前四半期純利益	573,686	1,005,185
法人税、住民税及び事業税	119,271	252,643
法人税等調整額	4,161	89,858
法人税等合計	123,432	342,502
四半期純利益	450,253	662,683
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,115	60,630
親会社株主に帰属する四半期純利益	441,137	602,053

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	450,253	662,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,257	38,632
その他の包括利益合計	△69,257	38,632
四半期包括利益	380,996	701,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	371,880	640,521
非支配株主に係る四半期包括利益	9,115	60,793

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。